

No.6 別紙

1 活動名 コロナ危機と気候危機の時代「グリーンリカバリー」を考える
オンラインシンポジウム 参加

2 研修の目的

(1) 本市における課題

全国の自治体が気候非常事態宣言をおこなうなか、本市においても宣言が待たれる。二酸化炭素排出量削減のための具体的な施策と取り組みの推進が必要である。

(2) 研修の必要性 各政党の気候変動対策担当者より、取り組むべき課題を伺い、本市の施策に取り入れる。

(3) 研修項目 研修内容に同じ

3 研修内容

(1) 日時 令和2年8月23日(日) 19時～21時15分

(2) 会場 オンライン(ZOOM)

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

ア シンポジウム 各国政政策担当議員(堀越けいにん氏、笠井亮氏、むたい俊介氏、福島みずほ氏ほか)

イ 長野県の取り組み(阿部守一長野県知事)

(5) 成果・所感等

新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の停滞によって、CO2排出量は大幅に減少したが、今後の経済回復の過程で再度の増加が懸念されている。国際エネルギー機関(IEA)や国連も、今後単純な経済回復ではなく、これを機に再生可能エネルギーへの投資を強化して転換を図るべきと訴えている。ヨーロッパでは、コロナ危機からの回復をグリーンリカバリーとして、気候危機対策を重視した政策が呼びかけられている。感染防止と経済活動の両立へと転換しようとするなか、各政党の気候変動に関する認識と対策を伺い、地方が取り組むべき課題を議論した。自然エネルギーについては、立憲、共産、社民の野党は当然のことだが、自民党内でも議論が活発化していることがわかった。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) セミナー参加費 1000円